



教員の動き

児童の動き

登校時

- ・窓を開けて換気を行う。
- ・昇降口で健康チェックカードの声かけ、忘れた子は生活科室前で検温と体調確認。(級外職員)
- ・教室に入る児童に手洗いまたは手の消毒をさせる。
- ・健康チェックカードの確認と回収。(8:00)
- ・健康チェックカード忘れ、検温忘れの児童は教室の体温計で検温。→体調不良の児童は保健室へ。
- ・マスクをしていない児童→生活科室か保健室へ行かせる。

- ・健康チェックカード、マスクを忘れた児童は生活科室前で検温する。
- ・手洗いまたは手の消毒をして、教室へ入る。
- ・健康チェックカード提出。(異常なしの子が登校)
- ・頭痛や発熱、咳等の体調不良者は早退。担任と相談して保健室に行く。
- ・窓を開けて換気を行う
- ・清潔なハンカチを身につける。
- ・女子の更衣・・・6年生：学習室、児童会室、5年生：家庭科室

授業中・休み時間

- ・校内では教員も児童もマスクをする。
- ・外での活動時のマスクは、気温や感染状況から、判断する。
- ・適宜フェイスシールドを活用する。理科の実験(マスクと併用)、表情を見せて指導する時(短時間)等。
- ・座席を一人ずつにし、隣の児童とは2マス程度離す。
- ・大きな声を出す活動はしない。
- ・教室移動は整列して移動するが、できる限り短時間で密にならないように工夫をする。
- ・欄間、教室のドア、端の窓を開けて換気する。それ以外の窓は天候による。扇風機も活用する。
- ・エアコン使用時も換気をする。
- ・休み時間は全ての窓を開ける。
- ・特別教室使用の前後に手の消毒をさせる。
- ・体育館を同じ時間に使用するのは1学年までとする。
- ・手洗いをするよう指導し、見届ける。(手洗いタイム、外から戻ってきた時、トイレ後、清掃後は必ず。)
- ・夏季は熱中症予防のため、水分補給の時間をとる。
- ・体調不良者の児童はまず検温する。37.5℃以上は早退、発熱を伴わなくても早めに早退の処置をとる。(生活科室か相談室で迎えを待つ)
- ・心因的なものが疑われる体調不良は個々に対応する。

- ・係の児童や保健委員会が率先して窓を開け、手洗いや手の消毒の声かけをする。
- ・特別教室や共有の用具を使用したら、手を消毒する。
- ・他の人と物の貸し借りはできるだけしない。
- ・体育の授業はマスクを外す。
- ・気温の高い日は登下校時、ランランタイム、休み時間に外で遊ぶ時はマスクを外す。
- ・手洗いタイム、外から戻ってきた時、トイレ後、清掃後は必ず手を洗う。
※手洗いタイム・・・中休み後、給食前、昼休み後、清掃後。
- ・水筒を持参し、休み時間には水分補給をする。
- ・体調不良者は無理をせずに担任に申し出る。
- ・風邪症状で早退する児童は生活科室で迎えを待つ。

昼休み・清掃

- 【昼休み】
 - ・児童がなるべく密接しない、大声を出さないよう声をかける。
 - ・昼休み終了時に手洗いをするよう指導する。
- 【清掃】
 - ・換気をし、清掃終了時に手洗いをするよう指導する。

【昼休み】

- ・なるべく密接しないようにして過ごす。
- ・遊ぶ時に大声を出さないようにする。
- ・図書室を使用する時は必ず手の消毒をする。
- ・金管クラブの練習は、換気をして間隔をあげ、気をつけて行う。
- ・昼休み終了時に手洗いをする。(放送)

【清掃】

- ・黙って静かにいき、清掃後に手を洗う。(放送)
※床の雑巾がけ、便器の掃除はしない。

下校後

- 【下校後】
 - ・ドア、教卓、スイッチ、水道の蛇口、トイレのドア等を消毒する。・・・1日1回学年の担当場所
 - ・トイレを掃除する。(必要に応じて)
※児童用机はできる範囲で適宜消毒する
 - ・職員の共有部分の消毒をする。・・・日直

- ・高学年は更衣室が混み合わないようクラスごと着替えの時間をずらす。
- 【下校後】
 - ・手洗い・うがいを丁寧に行う
 - ・早寝、早起き、バランスのよい食事を心がける。

